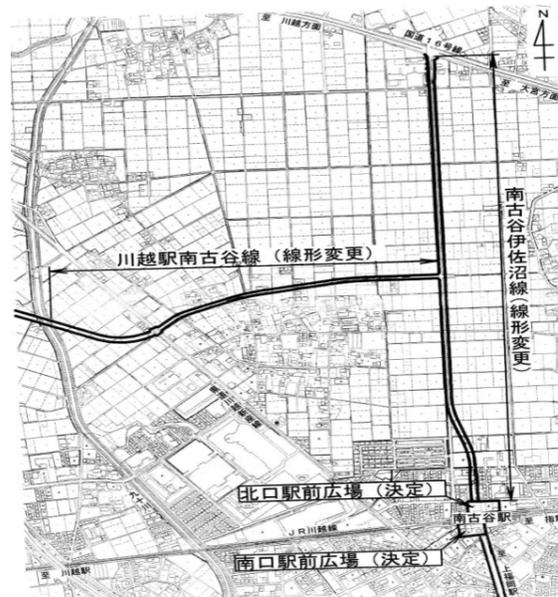


## 南古谷駅北口開設状況

南古谷駅北口開設に向けて平成29年2月25日（土）南古谷公民館、26日（日）古谷公民館にて地域の方への説明会が開催されました。

また6月11日（日）には、午前午後の2回、東部地域ふれあいセンター、農業ふれあいセンターにて説明広聴会が開催されました。多くの方が参加され様々なご意見を頂きました。今後、都市整備課と話をしながら慎重に進めてまいりたいと思います。



## 南古谷保育園保護者説明会

平成29年6月11日（日）に南古谷公民館にて保育課主催の南古谷保育園保護者説明会が開催されました。南古谷保育園は、市内14番目の公立保育園として昭和49年開園以来、43年が経過しており、現在69名の児童が在園しています。この度耐震診断の結果、コンクリート強度が部分的に低い状況であると判明しました。耐震補強工事は行わずに、民間保育所等の整備状況を鑑み、また近隣園との統合等も含めた園舎のあり方を今後検討していくとのことでした。その間の児童の安全性及び保育環境の継続性の観点から、**仮園舎を建設し、69名の在園児を受け入れること**となりました。

今年度中に仮園舎用地選定を行い、建設工事に着工し、**平成30年7月の移転**を予定しています。

仮園舎については、保護者の皆様の利便性を考慮し、**現園舎近くで同等もしくはそれ以上の敷地を選定し、建物も簡易なものではなく鉄筋造り**で、来年度の新規受け入れも行っていく予定です。

在園児が友達と離れ離れになることなく、かつ安全性が確保される仮園舎建設には、私自身も3歳と0歳の娘を保育園に通わず親としては喜ばしいことと思います。

仮園舎が子ども達・保護者にとってより良い園となるよう、今後市保育課と連携を取ってまいります。

### 栗原みつはる プロフィール

昭和46年6月9日川越市岸町生まれ(46歳)、仙波小学校、砂中学校卒業	
1990年3月 城北埼玉高等学校卒業	2014年11月 ワタミの介護(株)退職
1994年3月 立教大学経済学部経営学科卒業	2014年12月 SKYケアサービス(株)設立
1994年4月 カナダへ2年間語学留学	通所介護3施設(さいたま市、新座市、蕨市)
1997年1月 (株)ユーセンス入社	放課後等児童サービス3施設(川口市、草加市)
2001年5月 ワタミフードサービス(株)入社	FC 都内1施設(世田谷区)、県内1施設(久喜市)
営業部長まで務め経営・サービス業を学ぶ	2015年4月 川越市議会議員選挙に挑戦し、次点にて惜敗
2012年9月 ワタミの介護(株)へ転籍	2017年1月 川越市議会議員に当選(1期)
有料老人ホーム エリアマネージャー	保健福祉常任委員会、介護保険審議会、国民健康保険運営協議会、タブレット委員会

ご意見・ご感想・皆様の声をお聞かせください！

南古谷事務所 〒350-0023 川越市並木77-8 携帯：090-6509-2419、電話：049-235-8425

岸町事務所 〒350-1131 川越市岸町1-25-18 電話：049-247-7701

2017年7月発行

川越市議会議員

## 栗原みつはる 議会報告

～未来へのまちづくり～ Vol,2

### 6月定例会にて 初の一般質問に登壇！

#### 【乳幼児健診について質問】

現在市では、母子保健法に基づき乳幼児に対して、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診が行われております。

乳幼児の健康の病気の予防と早期発見、健康の保持及び増進を図ることを目的としており、保護者からの相談や虐待の予防の機会にもなる非常に重要なものです。

特に今は女性の社会進出、核家族化が進んでおり、平日は仕事をしていて、日頃子どものことを相談できる人も限られており、また時間もなく、多くの悩みを抱えている人が多いのが現実ではないでしょうか。

南古谷、岸町地区においても子育て世代がどんどん移り住んできており、そのような悩みを持つ保護者が多くいるのではないかと考えられます。

そうした中で、乳幼児の健康保持はもちろん、そのような保護者を孤立させないためにも多くの方が一堂に受診する乳幼児健診の果たす役割は非常に大きいと感じています。

Q：市の受診率目標100%に対して、過去3年間の乳幼児健診の該当児数と受診率は？

A：	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	該当児数	受診率	該当児数	受診率	該当児数	受診率
4か月児健診	2822人	94.0%	2764人	95.9%	2746人	94.0%
1歳6か月児健診	3152人	96.4%	2864人	93.4%	2819人	93.5%
3歳児健診	3050人	93.4%	3018人	91.1%	3048人	91.9%

それぞれ90%を超えてはいるものの概ね横ばいの状況となっています。

Q：県の受診状況と比較して市の現状は？

A：	県	川越市
4か月児健診	95.5%	95.9%
1歳6か月児健診	95.3%	93.4%
3歳児健診	92.0%	91.1%

\*平成27年度数値

4か月児健診では県よりも高いものの、幼児健診は県よりも低くなっています。

Q：健診を受診しない主な理由は何か？

A：他の医療機関で受診している、仕事のために都合がつかない、転出などです。

Q：健診を受診しない人へのフォローはどのように行っていますか？

A：健診対象月に受診されない人に対して、ハガキ・電話にて受診促しをしています。その後、それぞれ定められた健診対象期間を経過しても受診されない場合には「未受診」と定義して家庭訪問を実施しています。それでも所在確認できない場合には、地区担当保健師による夜間家庭訪問を実施して状況把握に努め、最終的にはこども家庭科へと繋いでおります。

## ここで提言① より迅速な対応を！

受診率はそれぞれ90%を超えていて一見高いようにみえますが、該当児数と受診率とを鑑みますと、未受診者は4か月児健診で毎年約150名前後、1歳6か月児健診で約160名前後、3歳児健診で約240名前後もあり、決して少ない人数ではありません。

近年乳幼児の所在が確認出来ないまま、虐待を受けて亡くなり、遺棄され、遺体が発見されるという痛ましい事件が相次いで起きております。

最近では狭山市にて3歳の女の子が両親から虐待され死亡するという事件が起きております。

狭山の事件でも死亡した女の子とその姉は乳幼児健診を受けていませんでした。

厚労省の報告では、虐待による死亡事例のうち、0歳児の割合が約6割を占めていることから、こうした虐待の早期発見のためにも、健診に来ない人への早期の対応が不可欠と考えます。

Q：昨年度、何名が未受診で家庭訪問となっているのか？

A：平成28年度、未受診となり家庭訪問の対象となった人数は182名です。内訳は、4か月児健診対象乳児が24名、1歳6か月児及び3歳児健診対象幼児が158名です。

Q：乳幼児健診を受診していない方に対し、家庭訪問等を含め健康づくり支援課（保健センター）でフォローしている期間は？

A：4か月児健診で約5か月間、1歳6か月児健診で約9か月間、3歳児健診で約11か月間です。

Q：現在、乳幼児健診未受診児対応ガイドラインなどはあるのか？

A：対象者、方法、回数などを定めた「実施要領」に基づいて未受診対応を行っています。

## 提言② ガイドライン策定を求める！

現在市では、対象者、回数や方法などを定めた実施要領はあるものの、具体的な状況に応じた所在確認の方法や判断基準が明確ではなく、健康づくり支援課での所在確認までの期間も5か月～11か月と非常に長いのではないのでしょうか。

大阪府では、虐待予防の観点から未受診から電話・ハガキでの促し、家庭訪問までを2か月間で実施して、3か月後には次のステップに繋げております。

乳幼児期の1週間、1か月の時間差は影響が大きく、病気の早期発見・早期治療、そして虐待の早期発見という観点から今後より迅速なフォロー、関係機関との連携のために、健診未受診対応ガイドライン策定すべきであると提案しました！

また最後に、保護者からの声として利便性向上、受診率アップのために・・・

保健センターでの受診は交通の便が悪いので公民館などの身近な施設での検診開催、午後1時からの健診時間の見直し、土日開催の検討を提案しました。

## 川越シャトル新ルート

平成30年4月1日  
運行開始予定

人口減少・超高齢社会を見据え、平成30年春に新河岸駅東西駅前広場の整備が完成することに合わせて、市内循環バス「川越シャトル」のルート見直しが行われました。

今回南古谷経由便、岸町一丁目経由便の新規2路線が整備され、7路線の軽微変更、4路線の統合がされました。

見直しにあたっては、公募意見の他、新河岸駅東西駅前広場活用、利用者が少ない路線の統合等の見直し、路線数13の維持、車両数12台維持、運行基準（運行時間30分以内、運行距離10km以内、幅員6m以上）等を鑑みて行われております。

30系統	南文化会館→高階市民センター→新河岸駅西口→岸町3丁目→岸町2丁目→烏頭坂→川越駅東口→川越市役所→総合福祉センターオアシス	*名称はルートを分かり易くするためのものです。バス停とは異なります。
31系統	上福岡駅→高階市民センター→新河岸駅西口→烏頭坂→川越駅東口→川越市役所→総合福祉センターオアシス	
32系統	新河岸駅西口→烏頭坂→川越駅東口→やまぶき会館→川越市役所→総合福祉センターオアシス	
34系統 (新規)	新河岸駅東口→岸町1丁目セブンイレブン→川越駅東口→クラッセ川越→通町→川越駅東口→新河岸駅東口(循環)	*バス停は現在調整中です。
40系統	南古谷駅→東中学校→古谷市民センター→古谷小学校→グリーンパーク→川越運動公園→埼玉医大	*詳しくは川越市ホームページを御覧ください。
41系統 (新規)	新河岸駅東口→わかば台→さくら堤→南古谷公民館→南古谷駅→ユニクス南古谷前→東後楽会館→農業ふれあいセンター→埼玉医大	

